



エネファーム Type Sが 「日経地球環境技術賞・優秀賞」を受賞

このたび、日本経済新聞社「2012年日経地球環境技術賞」において、当社「エネファーム Type S」が、発電効率が高い新型家庭用燃料電池として「優秀賞」を受賞した。今回は、45%に達する高い発電効率の SOFC 型家庭用燃料電池を世界で初めて発売したこと、都市ガス・液化石油ガス (LPガス) の両方を燃料に使えることが高く評価された。2012年11月7日の表彰式では、審査委員の東京大学・鈴木名誉教授より、本製品は「エネルギー変革への可能性を見出した」との講評を受けた。当日、西島常務が日本経済新聞社・喜多恒雄社長より表彰状を授与された。



表彰式の様子 (左から2人目が西島常務)



ENEOS SUSTINA(サスティナ) ATフルード、CVTフルードの発売開始

2012年11月、当社は「ENEOS SUSTINA ATフルード」、「ENEOS SUSTINA CVTフルード」を、全国約12,000ヶ所のENEOSのサービスステーションで、新発売した。新商品「ENEOS SUSTINA ATフルード」「ENEOS SUSTINA CVTフルード」は、ガソリンエンジンオイル「ENEOSプレミアムモーターオイル SUSTINA」でお客様から高い評価をいただいていた「燃費」「走り」「静かさ」という実感ポイントを継承した、100%化学合成の超高性能オイルである。いずれも国内ほとんどすべてのAT搭載車、CVT搭載車それぞれに適合する。オイルは、ベースオイルと添加剤により構成されており、新商品は、省燃費を実現する世界最高水準のベースオイル「WBASE(ダブルベース)」を使用した。また、添加剤処方技術には、摩擦を制御し出力伝達性能を追求した当社独自の技術「FCテクノロジー(フリクション・コントロール・テクノロジー)」を採用している。これらの当社独自技術により、エンジンの出力をタイヤ側に伝える際の、駆動ユニット(自動変速機)におけるエネルギーロスを抑え、出力伝達性能を高めることで、「省燃費性能」「加速性能」「静粛性能」を向上した。当社は、乗用車の環境性能が向上し、平均車齢が伸びていく中で、「環境に優しい車を大切に長く乗り続けたい」というお客様のニーズに対応したオイルを今後とも開発していく予定である。

(潤滑油販売1部 潤滑油2グループ 相原 友厚)

ENEOS SUSTINA PREMIUM OIL SERIES

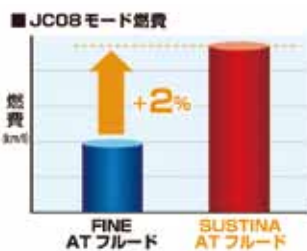


燃費

省燃費性能
最大2%向上



SUSTINA
ATフルード



省燃費性能
最大1%向上

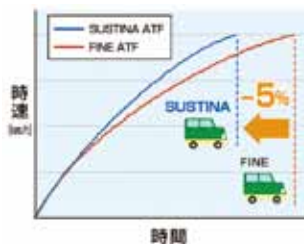


SUSTINA
CVTフルード

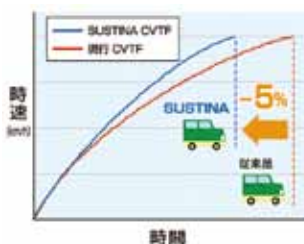


走り

加速性能
最大5%向上

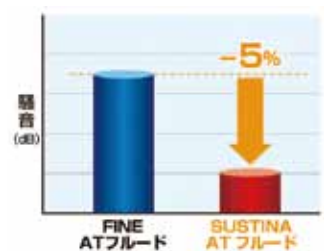


加速性能
最大5%向上



静かさ

静粛性能
最大5%向上



静粛性能
最大5%向上

